

移動等円滑化実績等報告書（軌道車両）

（ 年度）

住 所  
 事業者名  
 代表者名（役職名及び氏名）

1. 軌道車両の移動等円滑化の達成状況

（ 年3月31日現在）

軌道の種類	事業の用に供している編成数	年度内に供用を開始した編成数	年度内に供用を廃止した編成数	公共交通移動等円滑化基準省令に適合した編成数	車椅子スペースのある編成数	便所のある編成数	便所のある編成のうち車椅子対応型便所のある編成数	案内設備のある編成数	車両間転落防止設備のある編成数
	（ 編成 両）	（ 編成 両）	（ 編成 両）	（ 編成 両）	編成	編成	編成	編成	編成
（合 計）	（ 編成 両）	（ 編成 両）	（ 編成 両）	（ 編成 両）	編成	編成	編成	編成	編成

2. 軌道車両の移動等円滑化のための事業の計画

対象となる軌道車両	計画内容 （目標、計画対象期間及び事業の主な内容を明記すること。）

前年度の計画からの変更内容

- 注1. 軌道の種類の欄には、普通（特急等車両）、普通（その他）、懸垂式、跨座式、案内軌条式、無軌条電車又は浮上式の別を記入すること。
2. 公共交通移動等円滑化基準省令に適合した編成数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令のすべての基準に適合している編成の数を記入すること。
3. 車椅子スペースのある編成数の欄、便所のある編成のうち車椅子対応型便所のある編成数の欄及び案内設備のある編成数の欄には、それぞれ公共交通移動等円滑化基準省令第34条及び第35条において準用する公共交通移動等円滑化基準省令第32条第1項、第3項及び第5項の基準に適合している編成の数を記入すること。
4. 車両間転落防止設備のある編成数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令第34条及び第35条において準用する公共交通移動等円滑化基準省令第33条第1項の基準に適合している編成の数を記入すること。